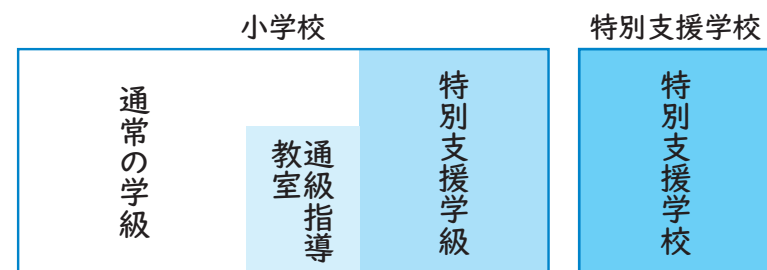


おこさまを支える多様な学びの場があります！

教育的ニーズに応じた学びの場があります。



おこさまの教育的ニーズに応じて検討します

※学びの場の見直しについては、在籍校へご相談ください。

特別支援学校

特別支援学級

【特別支援学級】

障がい種別の少人数学級です。特別支援学級で多くの時間学ぶ必要があるこどもが利用できます。

【通級指導教室】

通常の学級に在籍し、週1回程度、自校または他校で指導を受けます。
※市内27校に設置（R6.5.1現在）

※学校ごとに、設置している特別支援学級の学級種が異なります。

園や学校と保護者、関係機関等がしっかりとつながり、ともにこどもたちを支えましょう。 ～切れ目ない一貫した支援のために～

園や学校と保護者が協力して「個別的教育支援計画」や「移行支援シート」等を作成し、おこさまに合った効果的な支援を就学先・進路先へ引き継ぎます。



移行支援シート及び特別支援教育についてのQ&Aはこちらから閲覧できます。



●一人で悩まないで、相談してみましょう。

お気軽にご相談ください

おこさまの発達等にかかわる熊本市の主な相談機関 ※令和7年1月時点の相談機関名

発達や就学、不登校等に関すること (年長児から)	熊本市教育委員会 総合支援課 教育相談室 (こどもセンター あいぱるくまもと2階)	☎ 096-362-7070
18歳までのこどもの発達に関すること	熊本市こども発達支援センター (ウェルパルクまもと2階)	☎ 096-366-8240 FAX 096-366-8260
発達障がいに関すること	熊本市発達障がい者支援センター みなわ (ウェルパルクまもと2階)	☎ 096-366-1919 FAX 096-366-1900
学校教育に関するあらゆる相談	学校教育コンシェルジュ (こどもセンター あいぱるくまもと2階)	☎ 096-362-7171
こどもの権利に関する相談	熊本市こどもの権利サポートセンター こどもホットライン (ウェルパルクまもと2階)	☎ 0120-273-070 (こども専用無料) ☎ 070-3367-9330 (大人の方用)
こどもの養育、非行や虐待等に関すること	熊本市児童相談所 (こどもセンター あいぱるくまもと3階)	☎ 096-366-8181
特別支援教育全般に関すること	熊本市教育委員会 総合支援課 特別支援教室	☎ 096-328-2743 FAX 096-323-8355
健康に関すること (小学校区担当の保健師がいます)	各区役所の保健こども課へお問い合わせください。	
身体障害者手帳・療育手帳等 福祉制度の相談に関すること	各区役所の福祉課へお問い合わせください。	

熊本市教育委員会 総合支援課 特別支援教室

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号

☎ 096-328-2743

FAX 096-323-8355

特別支援教育 家庭・地域啓発リーフレット

小学校版

こども一人一人の理解と支援のために

～ともに支える特別支援教育をめざして～



特別支援教育とは…

障がいのあるこどもを含め、特別な配慮を必要とするこども一人一人の教育的ニーズを把握して、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

熊本市教育委員会

おこさまの学校生活、学習、
将来の進路などで気になるときは…

まずは、学校へ
ご相談ください。

学校の 相談窓口

- 学級担任
- 特別支援教育コーディネーター
(担任の支援や関係機関との連携を
中心に行う職員)
- 学年主任や養護教諭
- 教頭 など



例えば、こんなことはありませんか？

全国調査によると、通常の学級に特別な教育的支援を必要とするこどもが 8.8% 在籍
していると言われています。学校ではこどもに応じた支援について本人や保護者と相談し
ながら進めています。

学習や活動のなかで

- 一斉での指示を聞き逃しやすい
- 聞いたことを忘れがち
- 姿勢を保つことが苦手
- 書くことや読むことに時間がかかる

生活のなかで

- 片付けに時間がかかる
- 同じ間違いを繰り返しやすい
- 予定の変更が苦手
- 感覚の敏感さがある

遊びのなかで

- 勝ち負けへのこだわりの強さがある
- 冗談を言葉どおりに受け取るところがある
- 熱中すると、話しかけられても気づかない
時がある

周囲の正しい理解と適切な支援が必要です。

小さなサインを 見逃さないようにしましょう。

こどもの言葉や行動、態度の中から「困っているよ」「手伝ってほしいな」
「ちょっと助けて」というメッセージとして受け止めましょう。

こどもの得意なことや、よいところに目を向けましょう。

どのこどもにも個性があります。得意なことやよいところに目を向けて、
自信や意欲が高まるような声かけをしましょう。

こどもが安心して活動できる環境を 整えましょう。

はじめに手順を説明する、写真や絵カードを使う、不安定になった時にゆっくりできる
スペースを作っておくなど、安心して学習し、活動できる環境を整えましょう。



通常の学級を含め学校全体で、特別支援教育を推進しています。

小学校における校内支援体制



保護者

悩み
不安

相談



学校

職員会議

学年会

職員研修

- ・特別支援教育の理解・啓発の促進
- ・専門性の向上

校内委員会

ケース会議

- ・職員間の共通理解
- ・支援内容・方法の検討
- ・校内支援体制の検討
- ・個別の教育支援計画、
個別の指導計画の作成 等

丁寧な実態把握を行い、アセスメントをします。

例) 読み書きが苦手なこどもへの支援

学校や保護者の気づき (実態把握)

〔読み〕

- 嫌がる
- 時間がかかる
- 語句や行が抜けたり、
同じところを読んだりする
- 勝手読み(「いきました」を
「いました」と読む)が多い 等



〔書き〕

- 嫌がる
- 時間がかかる
- 文字の形やバランスが整わな
かったり枠からはみ出したり
することが多い
- 細かいところに注意して
書くことが苦手 等



支援方法の
検討

学校は本人・保護者と相談しながら、
よりよい支援方法を探っていく
(アセスメント)

支援例)

- 文節と文節の間に“ / ”を
入れて読みやすくする
- 一行ずつ読めるような補助
具を活用する
- ICT機器の読み上げ機能を
活用する 等



支援例)

- 大きめのマス目や補助線
入りのプリントを活用する
- 漢字パズルや語呂合わせ等、
本人に合った学び方に合わせる
- 試験の時間延長を検討する
- タブレットを活用する 等



支援の有効性の
検証

学校ではこんなことに配慮しています。(支援例)

活動に見通しをもちやすくする配慮

感覚の過敏さを軽減する配慮

授業に集中しやすくする配慮

座席配置や教室掲示の工夫
刺激量の調整 等

片付けしやすくする配慮

整理箱の活用 等

車いすで通りやすくする配慮

バリアフリーの検討 等

- 学習の流れ
- ①めあて
 - ②考える
 - ③まとめ
 - ④たしかめ
 - ⑤ふりかえり

